

授業科目	事例研究（国際関係） Case Study (International Relations)			担当教員	滝 知則		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1・2 年／後期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>インバウンド観光客の受入に関わる文化的な課題の解決策を探ることを通じて、国際関係特講での学修成果を深化させる。具体的には、次の問いにとりくむ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ゲストの期待を満たすとともに、ホストの文化を尊重するような対応の仕方を見出す。 2. 地域社会のアクターの活動を通じて対応できる課題には、どのようなものがあるかを調べる。 3. ゲストとホストの双方の歴史と文化を理解することは、課題解決にどのように役立つかを考察する。 							
観点	学生の授業における到達目標				評価手段・方法		評価比率
関心・意欲 ・態度	授業への積極的な参加を、継続して行うことができる。				授業での報告 授業での発言の有無 中間まとめ		10% 5% 10%
思考・判断	研究対象の国・地域について、国際関係と観光がどう関わっているかを、論理的に説明できる。				プレゼンテーション 研究レポート		5% 30%
技能・表現	論理的な順番、ならびに読み手に分かりやすい表現を用いて、授業で発言したり課題レポートを制作したりできる。				授業での発言 研究レポート		3% 2%
知識・理解	①国際関係論の基本的な概念を、正確に用いることができる。 ②研究対象の国・地域の歴史的経緯と国際関係の特徴を正確に理解し、簡潔に説明できる。				プレゼンテーション 研究レポート		5% 30%
出 席							受験要件
合 計							100%
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
研究レポート 62%、授業での報告の実施 10%、授業での発言 8%、中間まとめの提出 10%、プレゼンテーション（第 13 回） 10%とする。							
授業の概要							
<p>調査の対象は西九州の観光地 2 か所とする。ケース 1 は長崎県内の観光地、ケース 2 は長崎県内または九州とする。各回のテーマについて調査し、交代で報告する。報告された内容を、授業で検討する。当日の学修内容をまとめて、次回提出する。</p> <p>受講生と担当教員が協議したうえで、現地調査や聞き取りを行うことがある。</p> <p>この科目の指導の過程において、必要な研究倫理教育を行うものとする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書： 指定しない。</p> <p>参考書： 指定しない。</p> <p>他に必要な資料は、授業で配布ないし指定する。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 報告者は授業の 2 日前にレジュメを担当教員に提出すること。このレジュメを担当教員が配布するので、受講者は事前に読んでおくこと。 2. 国際関係ならびに国際観光をめぐる報道に注目し、記録をとること。授業中にとりあげることがある。 							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	イントロダクション	①この授業のねらい、到達目標とスケジュールの確認、 ②プレゼンテーション(第14回)について説明・指示。	①シラバスを読んてくる ②自分が知っている事例を紹介する準備をする
2	ケース1 課題の把握	ケース1の観光地での文化的な課題について、報告と 討論を行う。	(予習)課題の描写(復習)課 題の調査結果の整理(次回提出、 以下同じ)
3	ケース1 原因の調査(1)	ケース1の観光地での文化的な課題の原因について、 報告と討論を行う。	(予習)予備調査(復習)原因 の調査結果(1)の整理
4	ケース1 原因の調査(2)	ケース1の観光地での文化的な課題の原因について、 報告と討論を行う。	(予習)予備調査(復習)原因 の調査結果(2)の整理
5	ケース1 対応策の検討(1)	ケース1の観光地での文化的な課題への対応策につい て、報告と討論を行う。	(予習)対応案の作成(復習) 対応策の調査結果(1)の整理
6	ケース1 対応策の検討(2)	ケース1の観光地での文化的な課題への対応策につい て、報告と討論を行う。	(予習)対応案の作成(復習) 対応策の調査結果(2)の整理
7	ケース1 中間まとめ	ケース1での調査結果をまとめ、報告と討論を行う。	(予習)ケース1の報告の準備 (復習)ケース1の研究から学 んだことの整理
8	ケース2 課題の把握	ケース2の観光地での文化的な課題について、報告と 討論を行う。	(予習)課題の描写(復習)課 題の調査結果の整理
9	ケース2 原因の調査(1)	ケース2の観光地での文化的な課題の原因について、 報告と討論を行う。	(予習)予備調査(復習)原因 の調査結果(1)の整理
10	ケース2 原因の調査(2)	ケース2の観光地での文化的な課題の原因について、 報告と討論を行う。	(予習)予備調査(復習)原因 の調査結果(2)の整理
11	ケース2 対応策の検討(1)	ケース2の観光地での文化的な課題への対応策につい て、報告と討論を行う。	(予習)対応案の作成(復習) 対応策の調査結果(1)の整理
12	ケース2 対応策の検討(2)	ケース2の観光地での文化的な課題への対応策につい て、報告と討論を行う。	(予習)対応案の作成(復習) 対応策の調査結果(2)の整理
13	ケース2 中間まとめ	ケース2での調査結果をまとめ、報告と討論を行う。	(予習)ケース2の報告の準備 (復習)ケース2の研究から学 んだことの整理
14	プレゼンテーション	ケース1とケース2の調査の内容と、明らかになった ことを報告し、討論する。	(予習)スライド、レジュメと 読み原稿の用意(復習)プレゼ ンの相互評価結果の提出
15	全体のまとめ	この授業での学修内容をふりかえる。	(予習)学修の達成度の振り返 り、今後の研究課題の報告(復 習)研究レポートの制作